



第2回 日韓透析医療勉強・交流会



The 2nd Showakai-Kyung Hee University Hemodialysis Symposium

開催日：2016年10月1日（土）10：00～16：00

場 所：（医）松和会 望星西新宿診療所 5階会議室

演 題：血液透析療法に関する基礎・臨床研究

主 催：（医）松和会、同アジア太平洋腎研究推進室

発表者：医師、看護師、管理栄養士、臨床工学技士



医療法人社団松和会および同アジア太平洋腎研究推進室では、第2回松和会・キョンヒ大学透析療法シンポジウムを開催いたしました。

本シンポジウムの目的は、かねてから親交のある韓国キョンヒ大学腎臓内科グループと血液透析の現状や今後の課題について意見交換を行うことと、相互の親睦を一層深めることにあります。

今回は、キョンヒ大学腎臓内科から医師と看護師等合わせて15名、松和会グループから医師、看護師、管理栄養士、臨床工学技士、事務職員合わせて48名（計63名）の参加があり、活発な討論がなされました。

キョンヒ大学からは、2015年5月に経験されたコロナウイルスによるMERS(Middle East Respiratory Syndrome)患者への対応の厳しさが発表され、重篤な感染症に対する備えの重要性を再認識しました。



松和会からは、韓国にはない職種の臨床工学技士の果たす大きな役割が発表され、キョンヒ大学から多くの質問がなされました。また、透析患者さんの運動・栄養の重要性についての看護師・管理栄養士から発表は、日常臨床に関わる問題であるだけに、医療スタッフだけでなく多くの事務職員からも質問が寄せられました。大変盛り多いシンポジウムであったと思っています。

シンポジウム終了後近隣のホテルで懇親会が行われ、楽しいひと時を過ごしました。

（文責：（医）松和会アジア太平洋腎研究推進室長 富野康日己）